

未来への遺産

秋田県

「小坂鉱山事務所と康楽館」



小坂鉱山事務所

秋田県の北部、十和田湖がある小坂町。明治百年通りと呼ばれる町の中心部には、小坂鉱山の歴史を今に伝える瀟洒な洋風の建築物群が保存されています。平成十九年には、経済産業省の小坂鉱山関連遺産として近代化産業遺産に認定されています。

小坂鉱山事務所（国指定重要文化財）は、明治三十八年に建築され、小坂鉱山の繁栄と閉山の歴史を見つめ続けてきました。その華麗な姿は、小坂鉱山のシンボルでもありました。白亜の木造三階建てで、飾り窓がルネッサンス風外観の基調



康楽館

ており、多くの観光客が訪れています。

鉱山事務所の隣にある「康楽館」（国指定重要文化財）は、鉱山従業員及び家族の厚生施設として建てられた、日本最古の現役芝居小屋です。外観は、正面屋根のアメリカ木造ゴシック建築の影響を受けた軒飾り、唐草がからんだ棟飾りなどの西洋建築です。

内部は、洋風の外観とは対照的に花道や切穴、回り舞台、昔ながらの棧敷席が備えられ、まるで江戸時代に戻ってしまったような和風芝居小屋が目の前に飛び込んできます。

現在、大衆演劇の常設公演（四〜十一月）

となつています。

また、正面中央のサラセン風あるいはイスラム風と言われるバルコニー付きポーチ、玄関ホールから三階まで突き抜ける魅力的ならせん階段は、建築学的にも高い評価を受けています。現在、小坂町と町の歴史の展示スペースにもなつており、多くの観光客が訪れています。

が行われているか、今年で二十三回を迎える歌舞伎大芝居には、趣のある舞台に著名な歌舞伎俳優が出演するとあって大人気となっています。



康楽館（内部）

この二つの建築物を中心とする明治百年通りには、六月になると白や淡いピンクのアカシアの花が咲きほこります。このアカシアは、小坂鉱山から発生した煙害で、周辺の樹木が枯死したときの緑化対策として一帯に植栽されたもので、今では町を象徴する木になっています。このアカシア並木を生かしながら、住民と企業によるボランテニアがクリスマスローズの植栽やハンギングの飾りつけなどを行い、心地のよい空間を作り出しています。この明治百年通りは環境省の「かおり風景一〇〇選」、国土交通省の「美しいまちなみ大賞」にも選定、手づくり郷土賞を受賞するなど各方面から評価を得、訪れる人にも憩いと安らぎを与えてくれる観光エリアとなっています。

小坂鉱山事務所と康楽館は、まさに「活用されてこそ文化財」としてまちづくりの中心となっている近代化遺産群です。

お問い合わせ

小坂町産業課観光商工班
〇一八六一二九一三九〇八